



話し合いの様子

《どのような教室か話し合う》

夏川 図工室の絵文字について話し合いました。まず、見た人がすぐにわかり、親しみを感ずるような絵文字にするために、どのようなものがあるか、何をする教室かということについて意見を出してください。

北原 図工室では、よく、トントンという音が聞こえます。かなづちでくぎを打っている音です。ふつうの教室ではできない、大きなものを作っているイメージがあります。

東野 この前ぼくたちも、はんがのローラーやインクをつかいました。教室にはないものがたくさんありました。

木村 たしかに、絵は教室でかいたけど、はんがのローラーは図工室でやったね。じゃあ、絵文字の絵にローラーを入れるのはどうですか。

夏川 ちょっと待ってください。絵文字の絵はまたあとできめます。

一度、今までの意見をまとめてみます。図工室にはかなづちやローラーなど、教室にはないものがある、大きなものを作る活動がしやすいということですね。

中西 記録するので、もう一度言ってください。

《絵文字のデザインを話し合う》

夏川 次は、どのようなデザインの絵文字にするか、意見を言ってください。

東野 北原さんが言っていたかなづちの音は、だれが聞いてもくぎを打っているとわかる音だからかなづちを入れたらいいと思います。

木村 わたしも東野さんにさんせいです。何かを作る教室だということがわかります。

夏川 北原さんは、どう思いますか。

北原 何かを作る教室だから、のこぎりもつけたしたいです。この前、のこぎりをつかっている学年がありました。教室ではできないことを、ここでやっているんだなと思いました。

東野 なるほど。図工室ならではのとくちようが表されている感じがしますね。

夏川 では、話を整理します。何かを作る教室というイメージをつたえるため、かなづちとのこぎりをデザインに入れるということですね。

中西さん、メモできましたか。

中西 はい。

夏川 ほかに意見はありませんか。木村さんは、何か意見がありますか。

木村 色はどうしますか。目だつ色がいいと思います。たとえばオレンジとか。

《色やはいけいについて話し合う》

夏川 それでは、みなさん、色についても話し合いました。木村さんから目だつ色のオレンジがいいという意見が出ました。ほかにつかいたい色はありますか。

北原 ぼくは木のイメージで茶色がいいと思います。図工室のつくえやイスは木でできているからね。
東野 でも、絵文字のデザインをかなづちとのこぎりにしたよね。どちらも木をつかっているから、茶色はそちらにつかうんじゃないかな。はいけいの色を茶色にすると、デザインが目だたないと思います。

北原 そうですね。何かを作る教室という意味をもたせたいので、デザインをかなづちとのこぎりにしたのですが、それが目だつような色にしたほうが、絵文字を見たときにわかりやすいかもしれません。

木村 図工では絵の具をつかって色をぬることが多いので、いろいろな色をつかってカラフルにするのはどうでしょうか。そうすれば、みんなの好きな色がぬれるので、いいと思います。

夏川 木村さんから、みんなの好きな色がぬれるようにカラフルな色にしたいという意見が出ました。この意見について、つけたしがありますか。

東野 カラフル。いいですね。せっかくだから、にじの色にしませんか。七色のにじの色は、いろいろな色があるけれど、なんとなく一つにまとまっているように見えます。みんなにじを見るときれいだなと思うし、ぱっと目につきやすいと思います。どうですか。

北原 さんせいです。にじを見るとわくわくする気持ちにもなるから、図工室で学習するのが楽しみになりそうです。

木村 わたしも、にじの色がいいと思います。

夏川 意見をまとめます。図工室の絵文字のデザインは、かなづちとのこぎりの絵で、二つが交ま差さしています。そして、はいけいはカラフルなにじのような色にすることになりますが、いいですか。

これで、話し合いを終わります。

